

言靈第一卷・内容紹介

はじめに「ことば」があった 8

古事記の神話・天の岩戸閉じ 11

不思議なできごと・日月神示が降る 20

神一厘に関する神示のことば 26

「無明」とは？ 35

科学文明が神を理解出来ない理由 38

「神一厘」の仕組みを知るカギ 43

世の建てかえ、建てなおし 46

神示は「愛」のことば 56

いくつもの顔を持つ日月の神 66

「国常立の神」の霊力の流れ 71

神の「三位一体」について 74

進化の方向は天照大御神 76

観音ボサツは日月の神 81

神示「八雲立つ、出雲八重垣妻ごみに……」

あらためて①について

118

“いのち”と“霊”は別のものではない 122

幸せを求めて不幸になる理由 124

イシヤの仕組みとは？ 132

“みとのまぐわい”“オノゴロ島” 136

“天の御柱”の左まわりと右まわりの意味 137

霊的進化の霊力と逆進化の霊力 139

人間の精神と進化の法則 142

“魂”のめざめと① 150

感覚・欲望・感情・精神・魂 156

「苦」の根源的な意味あい 160

オホカムツミは「苦」の意味を悟る「英智」の霊力 162

不動明王もひつくの神の姿の一つ 169

「苦」は大切なことを知るチャンス 172

心を大切にする……の意味 178

“いのち”の本質意識は「大歓喜」 181

この世の意識は、発狂・凍結の一手手前 184

「かごめの唄」に秘められた神世界からの呼びかけ 186

神一厘のでんぐり返り 192